

「石炭からの卒業 - ネットゼロ排出へ：日本とドイツの共通課題」 “Beyond coal – Towards net-zero emissions: A common challenge for Japan and Germany”

2020年12月18日（金）16:00 - 18:00（日本時間）

アジェンダ

ファシリテーター：高村 ゆかり 東京大学

時間	セッション
16.00 - 16.10	開会挨拶 イナ・レーペル (<i>Ina Lepel</i>) 駐日ドイツ連邦共和国 大使 武内 和彦 公益財団法人 地球環境戦略研究機関 理事長
16.10 - 16.20	長い道のり - ドイツと石炭 “THE LONG WAY OUT” - GERMANY AND COAL ハンナ・シンドラー (<i>Hannah Schindler</i>) Climate Transparency シニアプロジェクトコーディネーター
16.20 - 16.50	…そして早く進めよう - 我々は石炭由来の排出をどのくらい早く削減できるのか/する必要はあるのか? “...AND NOW A FAST RUN” - HOW FAST CAN WE, HOW FAST DO WE NEED TO REDUCE EMISSIONS FROM COAL? 日本とドイツは、2050年までに温室効果ガスの排出をネットゼロにすることにコミットした。本セッションでは、両国における石炭の段階的廃止の意味について議論する。 小野 洋 環境省 地球環境局長 ノルベルト・ゴリッセン (<i>Norbert Gorissen</i>) ドイツ連邦共和国 環境自然保護原子力安全省 気候変動欧州国際政策副局長
16.50 - 17.05	質疑応答

時間	セッション
	世界の脱炭素化に向けた国際協力 RUNNING TOGETHER: INTERNATIONAL COOPERATION FOR DECARBONIZING THE WORLD
	<p>日本の新・インフラシステム輸出戦略（令和二年度版）では、他国の新規石炭発電事業への支援を行わないという原則に加え、政策策定の支援や脱炭素化技術の選択肢の提供を通じて、当該国の脱炭素化を促進するというアプローチが示されている。本セッションでは、政策関与と技術オプションの提供を通じて、途上国の脱炭素化を促進する方策について議論する。</p>
17.05 – 17.20	新・インフラシステム輸出戦略の分析 AN ANALYSIS OF JAPAN'S NEW INFRASTRUCTURE SYSTEM EXPORT STRATEGY
	田村 堅太郎 公益財団法人 地球環境戦略研究機関 気候変動とエネルギー領域 ディレクター
17.20 – 17.45	識者からのコメント
	増井 利彦 国立研究開発法人 国立環境研究所 社会環境システム研究センター （統合環境経済研究室） 室長 ユルゲン・カーン (Jürgen Kern) ドイツ復興金融公庫 企業戦略とサステナビリティ ディレクター 宮部 直行 株式会社レノバ 執行役員 海外事業推進室 室長 ファビー・トゥミワ (Fabby Tumiwa) インドネシア非政府組織 インスティテュート・フォー・エッセンシャル・サービスズ・リフォーム 事務局長
17.45 – 18.00	質疑応答、サマリー

公益財団法人 地球環境戦略研究機関 (IGES: Institute for Global Environmental Strategies) について :

公益財団法人 地球環境戦略研究機関 (IGES) は、アジア太平洋地域における持続可能な開発の実現に向け、国際機関、各国政府、地方自治体、研究機関、企業、NGO 等と連携しながら、気候変動、自然資源管理、持続可能な消費と生産、グリーン経済などの分野において実践的な政策研究を幅広く行っています。1998 年、日本政府及び神奈川県との支援により設立。本部は神奈川県葉山町に所在し、約 150 名の研究者を擁し、その 3 分の 1 強が外国籍。関西（兵庫県）、北九州、北京、バンコク、東京の各センター・事務所と共に、グローバル及びアジア太平洋地域のネットワークを生かした戦略研究を展開しています。

CLIMATE TRANSPARENCY について :

[Climate Transparency](#) is a global partnership with a shared mission to stimulate a ‘race to the top’ in climate action in G20 countries through enhanced transparency. It convenes partners from Argentina (Fundación Ambiente y Recursos Naturales), Brazil (CentroClima/COPPE UFRJ), China (Energy Research Institute), France (The Institute for Sustainable Development and International Relations), Germany (Climate Analytics, Germanwatch, HUMBOLDT-VIADRINA Governance Platform, NewClimate Institute), India (The Energy and Resources Institute), Indonesia (Institute for Essential Service Reform), Japan (Institute for Global Environmental Strategies), Mexico (Iniciativa Climática de México), South Africa (Energy Research Center/University of Cape Town) and the UK (Overseas Development Institute). Climate Transparency is funded by the International Climate Initiative of the German Environment Ministry, the World Bank Group, the ClimateWorks Foundation, the European Climate Foundation and the German Federal Foreign Office.

This event is part of a series of events on coal transitions in China, Japan, South Korea in the run up to COP26. It is funded by the German Federal Foreign Office.